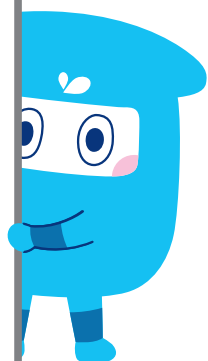


高性能グラスウール断熱材

2024年
9月版



ア ク リ ア
AcClear



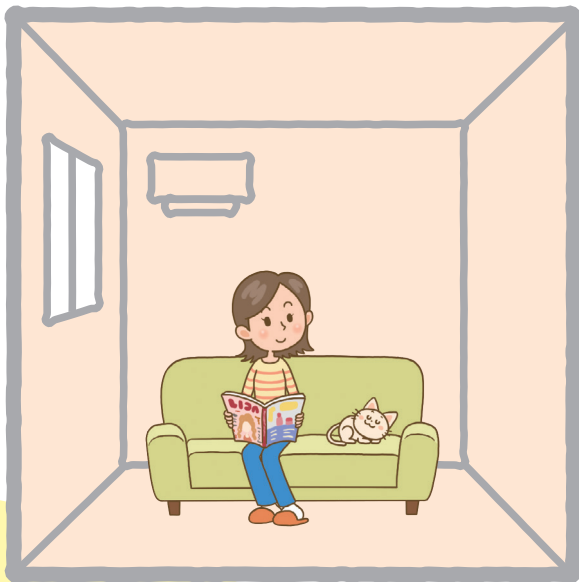
断熱、
いちばん、
アクリア。



教えて！
アクリアくん

そもそも、断熱って、どういう

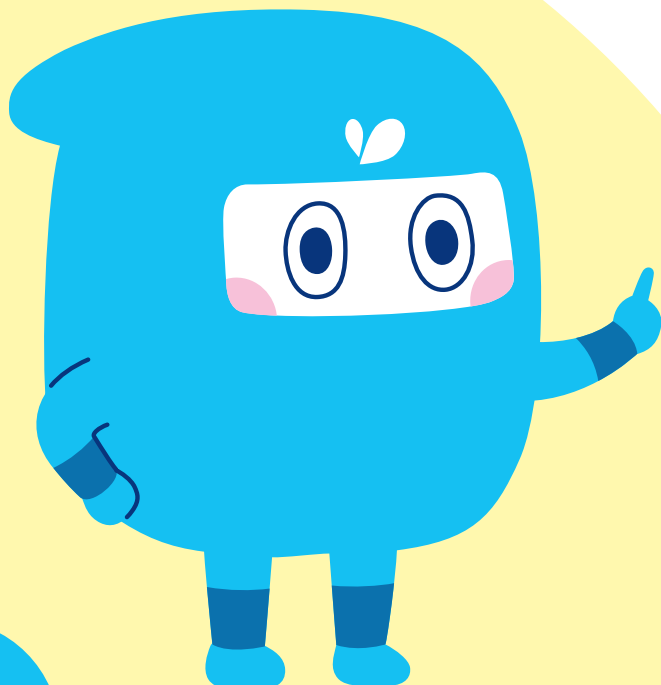
同じ温度でも
冬暖かく感じる家と寒く感じる家の
違いはなんだろう？



冬暖かく感じられる家は
暑い夏でも過ごしやすい



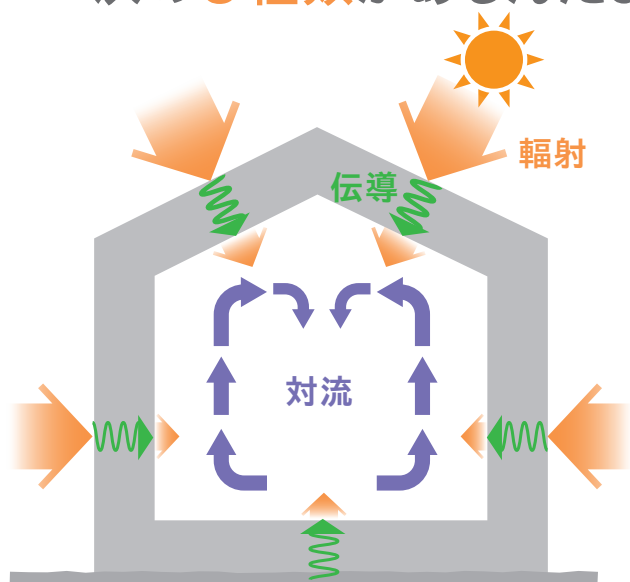
冬寒く感じられる家は
夏クーラーが効きにくく暑く感じる



室温と肌で感じる温度
(体感温度)に違いがあるってこと、
知ってる？
熱の伝わり方をコントロールして、
快適で健康的な省エネ住宅にしよう。
まずは、熱の基礎知識を
簡単に説明するね。

こと？

熱の伝わり方には、
次の3種類があるんだよ！



断熱とは、

伝導による熱の移動を抑え、
夏は住宅に入ってくる熱を、
冬は逃げていく熱を防ぎ、
快適な室内環境をつくる
仕組みなんだ！

1
伝導

伝導はモノの中で熱が移動すること。同じ温度でも、木はあたたかく、鉄は冷たく感じるのは、木は鉄より熱を伝えにくい物質だからです。

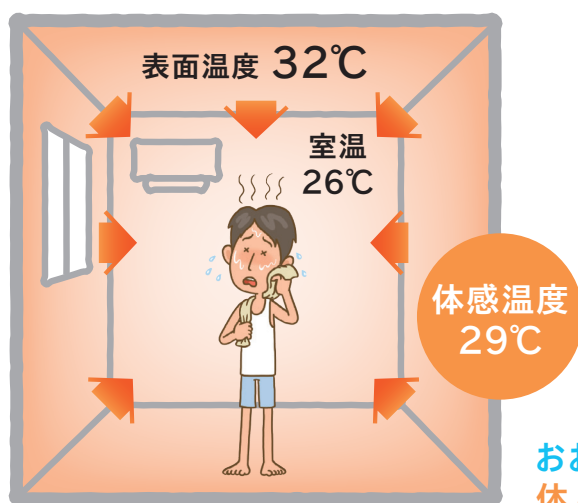
2
輻射

直接触れなくても、温度の異なるものの間で、熱の移動は起こります。太陽や焚き火の熱も輻射熱です。日陰で涼しく感じたり、遮るものがあると熱を感じないのはこの熱が届きにくくなるから。

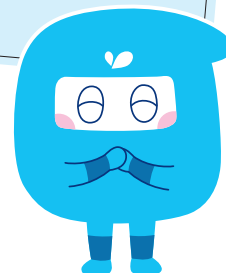
3
対流

温度の高い空気は上昇し、温度の低い空気は下降します。この空気の移動が対流です。

体感温度は周囲 壁 床 天井 の
表面温度に影響されるんだ！



室温は26℃なのに
まわりの壁の表面温度が32℃もあるから
体感温度はおおよそ29℃になるんだ。
暑く感じるはずだね！



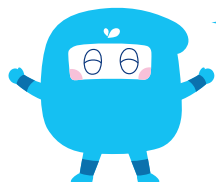
$$\text{体感温度} \approx \frac{\text{気温(室温)} + \text{周囲の表面温度}}{2}$$

外からの熱(夏の暑さや冬の寒さ)を室内へ伝えにくくするために、断熱材を床、壁、天井にしっかり入れ外から室内への熱の移動(伝導)を小さくすることで、室温と室内の表面温度の差が小さくなります。温度差の少ない室内では、暖冷房の熱が部屋全体に行き渡るようになり、体感温度も室温に近づくので、快適に感じられるようになるのです。



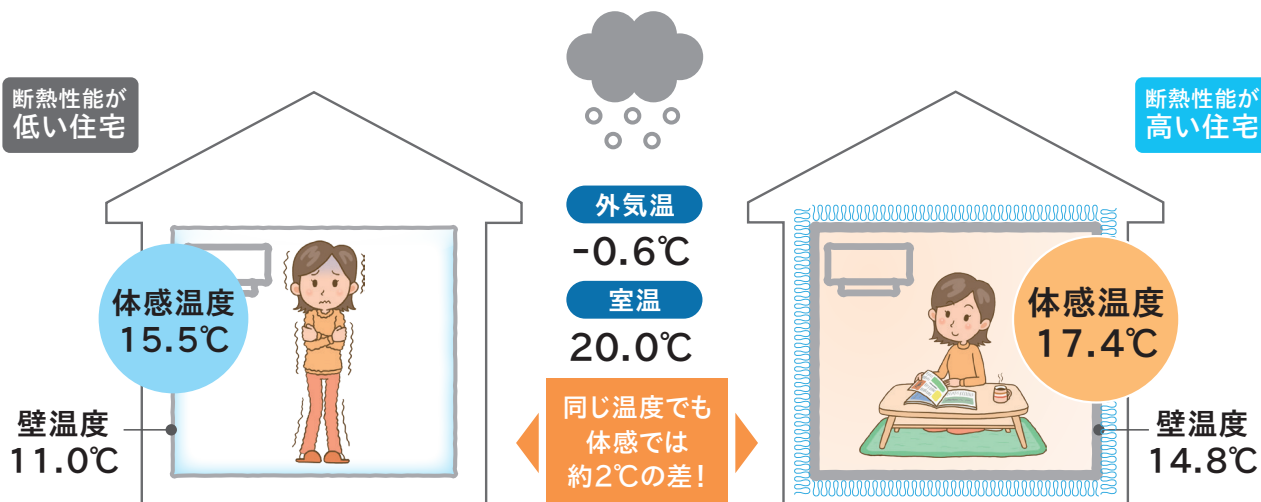
教えて！
アクリアくん

断熱すると、どんなメリットが

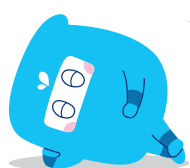


冬、どこにいても暖かい家になるよ！

断熱性能が高い家と低い家では、同じ室温でも体感温度が違って来るよ。断熱性能が低い家は外気の影響を受けやすく、壁や床の表面温度が低くなってしまうから、体感温度が下がって寒く感じる。一方、断熱性能が高いと表面温度が室温とさほど変わらないから、家のどこにいても寒さを感じにくくなるんだ。

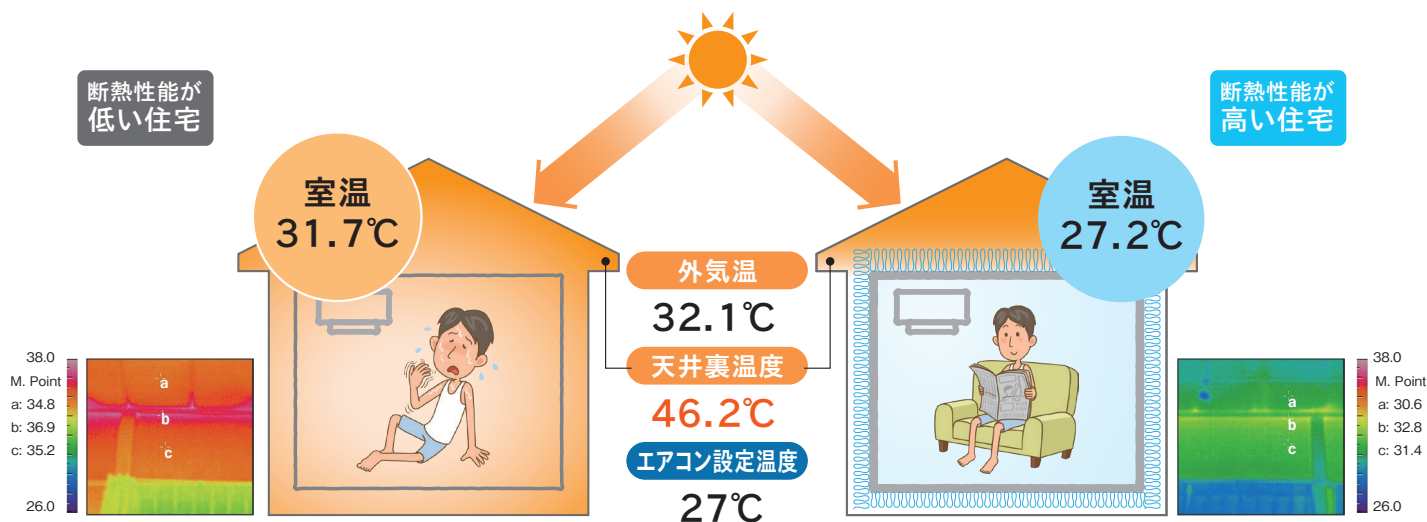


参考:2020年を見据えた住宅の高断熱化技術開発委員会 (HEAT20)パンフレットより作成



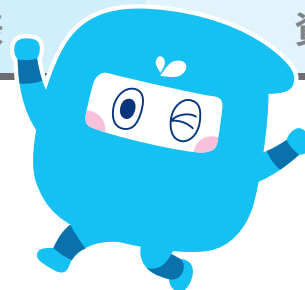
夏、クーラーが効く過ごしやすい家になるよ！

夏の強い日差しを受けると、天井裏の温度がものすごく上昇するんだ。ちゃんと断熱していないと、天井の温度が高くなって、エアコンの設定温度と体感温度の差が大きくなりがち。エアコンが効きにくく、2階が暑いのもそのため。夏の暑さ対策は、屋根や天井の遮熱や断熱をしっかりとすることで、ぐんと過ごしやすい家になるはずだよ。



※当社測定値より作成

あるの？



暖冷房にかかる電気代も節約できるよ！

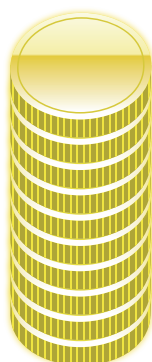
部屋の中の温度差が小さくなれば、エアコンの効きがよくなって、その分エネルギーも電気代も節約できるはずだね。調べてみると、年間の暖冷房費は、断熱性能が低い住宅では約68,000円、断熱性能の高い住宅なら約47,000円。約3割も節約できることになるよ、うれしいね。



年間の暖冷房費

約68,000円

断熱性能が低い住宅



断熱性能が高い住宅

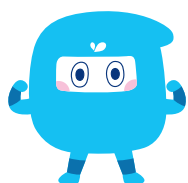


年間の暖冷房費

約47,000円

暖冷房費が
約30%^{※1}も
お得！

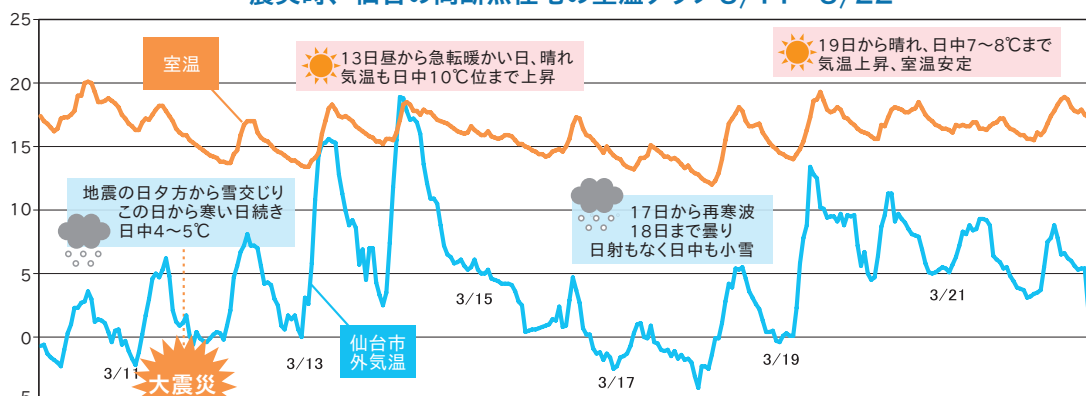
※1 断熱等性能等級3と等級4の比較。
東京、木造軸組、一定の条件のもと
で事業主基準温暖地モデルプラン
による試算。当社計算値。



万一の災害時、暖房が止まっても安心！

万一停電になったら、暖冷房が使えなくなる。暑い夏や寒い冬だったら、大変なことになる。そんな時でも断熱性能の高い家なら安心だよ。冬に暖房が効かなくても室内の温度をある程度保つことができるんだ。東日本大震災の時、仙台の高断熱住宅で測定されたデータが下のグラフだよ。

震災時、仙台の高断熱住宅の室温グラフ 3/11～3/22



実証

暖房が停止
したまま10日間。
外気温0℃を
下回っても
概ね室内は
15～16℃



断熱性能データ 熱損失係数(Q値)^{※2}: 1.47
仙台での断熱等性能等級4の基準に比べ、熱の逃げが3割以上抑えられる断熱性能の家。

出典: NPO法人 新木造住宅技術研究協議会

※2 家の各部位(壁、床、天井等)から逃げていく熱量の総計を延床面積で割った値のこと。
熱損失係数(Q値)の値が小さいほど断熱性能が高いということになる。

$$Q \text{ 値 } (W/m^2 \cdot K) = \frac{\text{家から逃げる熱量}}{\text{延床面積}}$$



教えて！
アクリアくん

断熱すると、健康メリットも



ヒートショックを起こしにくい！

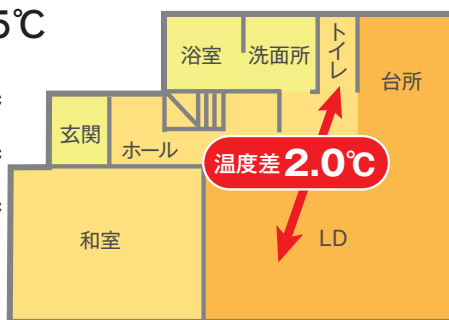
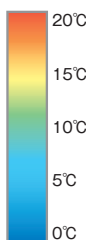
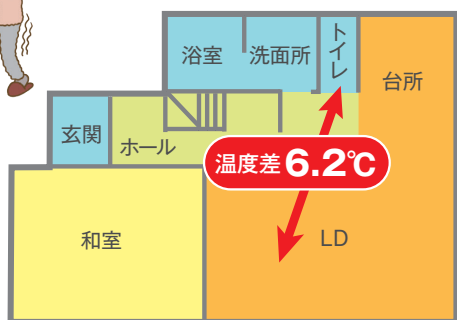
ヒートショックって、知ってる？冬、暖房の効いた部屋から廊下やトイレに出ると、ゾクッとする事ない？ これも軽いヒートショック。急激な温度変化によって血圧が上昇したり脈拍が速くなったりする現象で、脳出血や脳梗塞、心筋梗塞につながることもあるんだ。断熱性能の高い家なら、家中の温度差が小さくなるから、ヒートショックも起こりにくくなるよ。



断熱性能が
低い住宅

東京（6地域）の場合

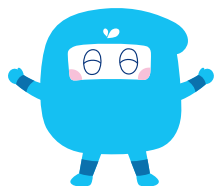
外気温
6.5℃



断熱性能が
高い住宅



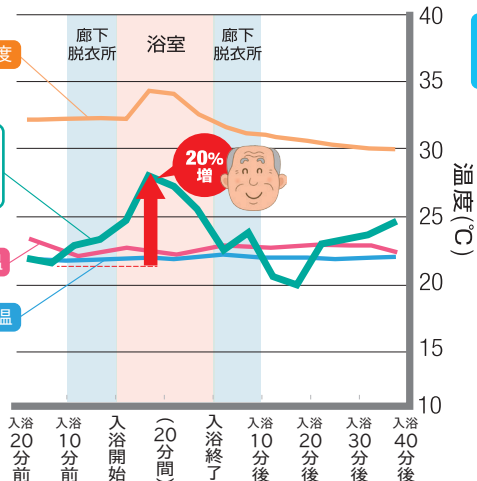
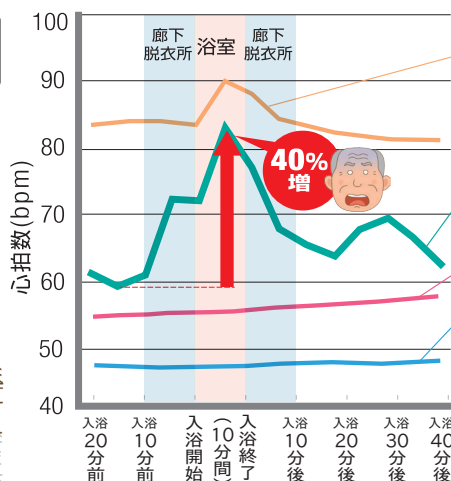
出典:2020年を見据えた住宅の高断熱化技術開発委員会(HEAT20)パンフレットより作成



入浴時の心臓への負担がやわらぐよ！

断熱性能の高い家と低い家では、入浴時の心臓への負担に大きな差があるといわれているよ。湯船の中はあたたかなくても、脱衣室や洗い場が寒いと、ゾクッとして、ドキッ！ 心拍数が上がって心臓への負担がかかり、ヒートショックのリスクも大きくなるよ。

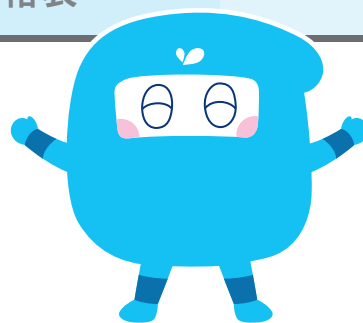
断熱性能が
低い住宅



断熱性能が
高い住宅

出典:慶應義塾大学 伊香賀研究室

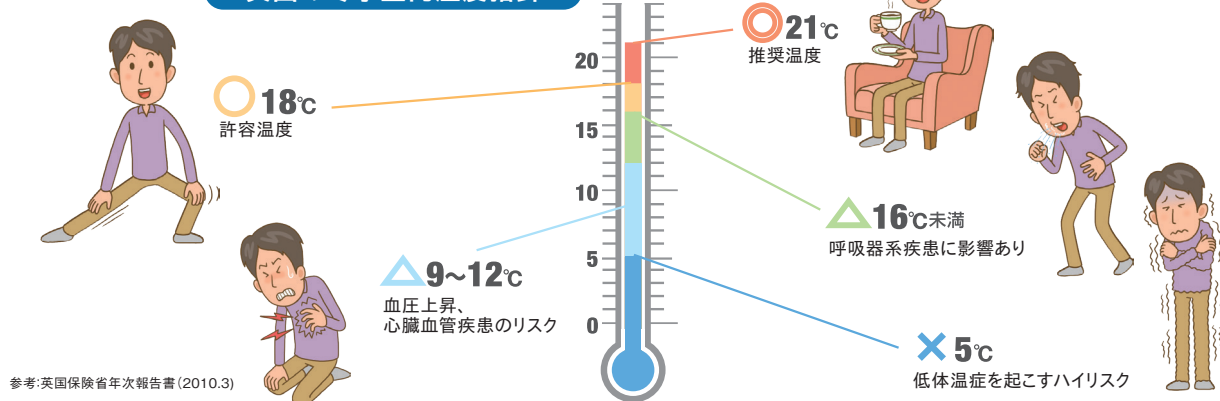
大きいって、ホント？



寒いと感じる家にはこんなリスクも！

下のデータは、英国保健省が部屋の温度が健康におよぼす影響を調べた結果なんだ。これによると、室温が18℃を下回ると呼吸器系や循環器系の疾病リスクが高まることが指摘されているよ。寒いと感じない部屋にすることが、冬の一番の健康法だね。

英国の冬季室内温度指針

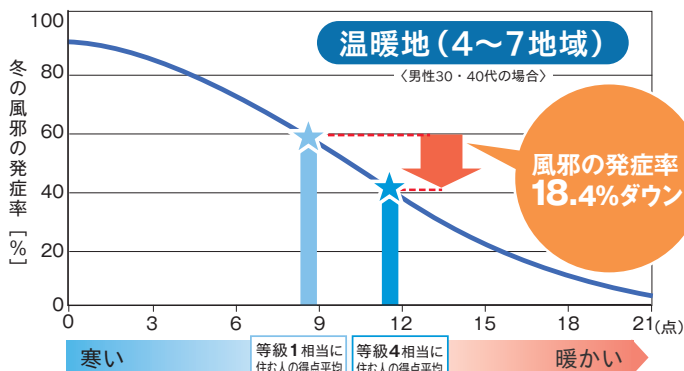


風邪もひきにくくなる！

住まいの暖かさと冬の風邪の発症率の関係を調べたデータを見ると、住んでいる家の断熱性能が高い人ほど自宅を「暖かい」と評価する得点が高く、その得点が高いほど風邪を引く割合が下がるという結果がでているよ！

CASBEE健康チェックリストによる得点※

※「CASBEE健康チェックリスト」とは、建物の環境性能を総合的に評価するシステム(CASBEE)の中で、住まいの健康性を評価するために開発されたチェックリストです。



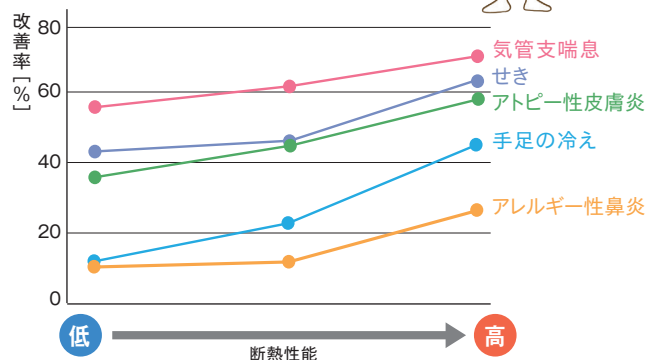
出典: 慶應義塾大学 伊香賀研究室



体調不良も改善!?

アレルギーやぜんそく、手足の冷えなども家の断熱と関わっているらしいよ。転居した約20,000人にアンケートをとって見たところ、断熱性能がより高い家に引っ越した人の方がいろいろな体調不良が改善していることが報告されているよ。

改善率 = $\frac{\text{新しい住まいで症状が出なくなった人}}{\text{前の住まいで症状が出ていた人}}$



出典: 近畿大学 岩前研究室



教えて！
アクリアくん

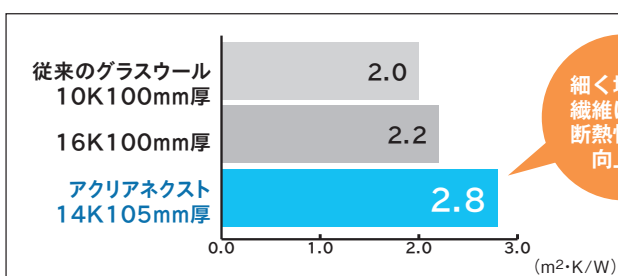
アクリアだったら、もっと、いい

なんといっても、
高性能！

アクリアは高性能グラスウール。一般のグラスウールに比べて繊維が細くからみ合う繊維の本数が多いので、同じ厚みでも高い断熱性能を発揮できます。

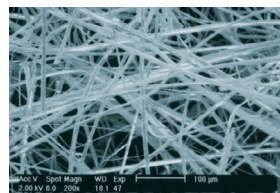


●断熱性能「熱抵抗値」の比較

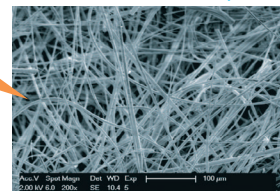


細く均一な
繊維により
断熱性能を
向上！

一般のグラスウール(約7μm)



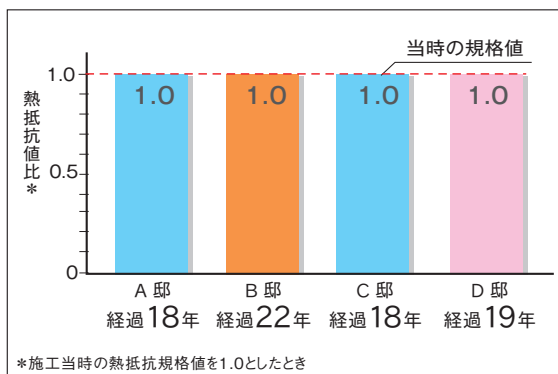
アクリアネクスト(約4μm)



快適な住まいが、
長持ち！

アクリアは耐久性も抜群！ 約20年経っても壁の中の断熱性能は新築当時と変わりませんでした。断熱性能が劣化しないということは、いつまでも快適な住まいを維持できるということです。

●グラスウールの断熱性能の経時変化

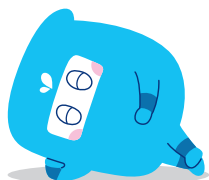
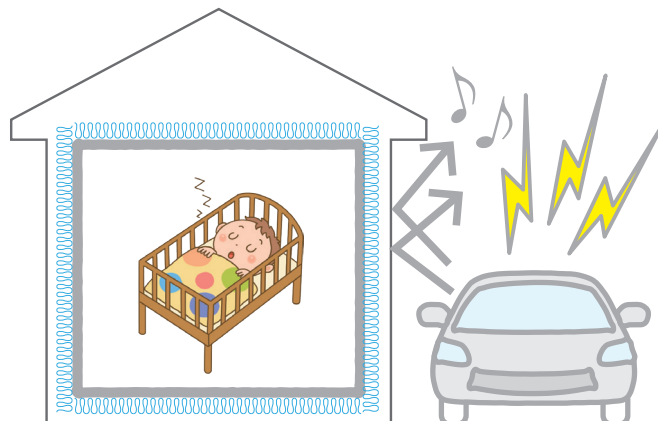


*施工当時の熱抵抗規格値を1.0としたとき

硝子繊維協会資料より(※当時の商品)

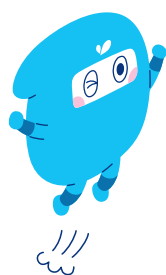
騒音対策にも、
使える！

グラスウールは吸音性にもすぐれており、劇場の音響調整や騒音対策にも使われているほど。壁に入れることで、断熱だけでなく防音効果も発揮します。また、1階の天井に施工すると、2階の物音をやわらげる効果もあります。



こと！

なにより、
安心！



アクリアは、シックハウス症候群の原因物質の1つといわれ、発がん性も指摘されるホルムアルデヒドを含む材料を一切使っていないから、赤ちゃんにも安心！ 家族の健康と安心にはトコトンこだわった断熱材です。

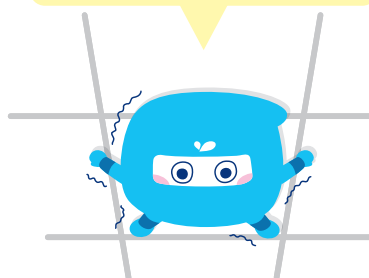


グループ 1	ヒトに対して発がん性がある	アスベスト、たばこなど
グループ2A	ヒトに対して発がん性でありうる	とても熱い飲み物、レドミート(ほ乳類の肉)など
グループ2B	ヒトに対して発がん性の可能性がある	ガソリン、ピクルスなど
グループ 3	ヒトに対して発がん性に分類されない	グラスウール(短繊維)、コーヒー、紅茶など
グループ 4	ヒトに対しておそらく発がん性がない	カプロラクタム1品種のみ

国際がん研究機関 (IARC) モノグラフ2016年6月現在

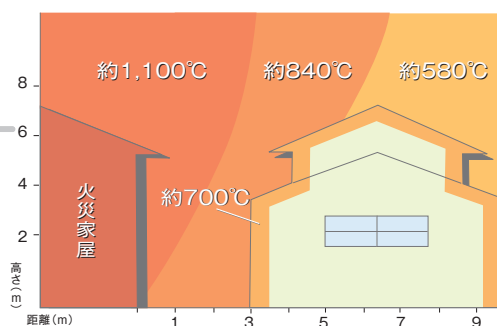
グラスウールは、アスベストとはまったく別の素材であり、発がん性に対して安全性を国際的に高く評価された断熱材です。万一施工時に吸い込んだとしても短期間で体外に排出されます。

不燃材料、
だから安全！



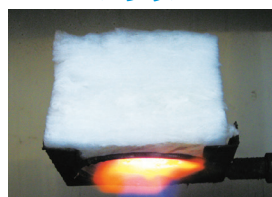
隣家で火災が発生すると、わずか30分で隣家の外壁は800℃を超える高温にさらされることを知っていますか？ だから断熱材が燃えやすいかどうか被害の大きさを左右します。アクリアは、高温に強く、燃えにくい不燃材料なので、延焼や類焼を防ぐ効果があります。

● 火災家屋からの距離と温度



参考資料：日本火災学会火災便覧

アクリア



発泡プラスチック系の断熱材



【比較方法】150mm角の試料をセットし、下から炎を当てた後の状態を撮影。

シロアリにも、
強い！



シロアリは住まいの大敵！ 被害を受けると住宅そのものの耐久性も損なわれてしまいます。アクリアはガラスが原料なので、シロアリの食害を受けにくいです。

アクリア(グラスウール)



蟻道はあるが食害なし

硬質ウレタンフォーム



大きく食害発生

※シロアリ環境下における食害試験[(財)建築研究協会委託実験より]



教えて！
アクリアくん

アクリア製品には、どんな種類

アクリアを
パワーアップ！

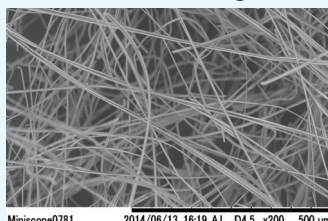
さらに進化した高断熱グレード



アクリア アルファ
AcClear α

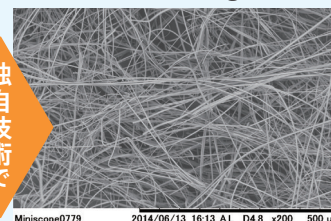
従来のアクリア繊維をさらに細繊維化することで、住宅用グラスウール断熱材としては世界最高水準となる**熱伝導率0.032W/(m・K)**を達成した、断熱性能シリーズNO.1^{※1}の断熱材です。 ※1：当社比

アクリアネクスト14kg/m³



平均繊維径約4ミクロン
熱伝導率0.038W/(m・K)^{※2}

アクリア α 36kg/m³



平均繊維径約3ミクロン
熱伝導率0.032W/(m・K)^{※2}

※2：23℃の時の熱伝導率(W/(m・K))

独自技術で
さらに細く！

高性能防湿フィルム付き！ アクリアネクスト

壁・屋根用

断熱等性能等級4 省エネルギー基準(3地域以南:壁)に対応

防湿性能 JIS A 6930 同等品

フィルム厚さ:50ミクロン

透湿抵抗値:0.123(m²・s・Pa/ng)

測定条件:温度25℃、相対湿度90%



アクリアネクストアルファ
AcClearNext α



熱伝導率
0.034
W/(m・K)



アクリア ネクスト
AcClearNext



特長

- 高い防湿性能をもつ高性能グラスウールです。



水蒸気の
浸入を防止

- 防湿フィルムは省エネルギー基準推奨施工の重ね幅に対応。
- フィルムの耳幅が広いので、施工性にも優れています。



防湿フィルム耳

30mm 以上

- 6面パックの“フルバック仕様”です。

があるの？

高断熱住宅を実現する密度36Kタイプと20Kタイプをラインアップ！

ZEH(ゼロエネルギー住宅)やHEAT20など、ハイクレードな高断熱住宅におすすめです。

密度 36Kタイプ

熱伝導率 **0.032 W/(m・K)**
熱抵抗値 **3.3 (m²・K/W)** 105mm厚

密度 20Kタイプ

熱伝導率 **0.034 W/(m・K)**
熱抵抗値 **3.1 (m²・K/W)** 105mm厚
熱抵抗値 **4.6 (m²・K/W)** 155mm厚



平成26年度
省エネ大賞
(製品・ビジネスモデル部門)
主催：一般財団法人省エネセンター
超断熱高断熱グラスウール
「アクリアα」シリーズ

※アクリアウールα20K-89mm品、
20K-140mm品は除く。

種類が豊富で使いやすい！ アクリアマット

壁・天井(屋根)用

18ミクロン厚の防湿フィルム付き

フィルム厚さ:18ミクロン 透湿抵抗値:0.032 (m²・s・Pa/ng)
測定条件:温度25℃、相対湿度90%



Safe & Clean Aclearmat α



熱伝導率
0.034
W/(m・K)

特長

- 防湿フィルム付き高性能グラスウールです。
- 従来のグラスウールに比べて、フィルムの耳幅が広く、施工性に優れています。
- アクリアマット10K50mmは上下面切り放しの4面バック、それ以外のアクリアマットとアクリアマットαは、6面バックのフルバック仕様です。

Safe & Clean Aclearmat

新築から
リフォームまで
幅広い用途に
対応

室外側のフィルムの色で厚さを区別できます。



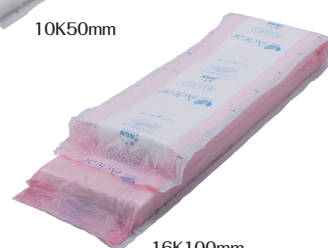
14K155mm

断熱等性能等級4の天井に対応!

※天井断熱の場合、別途防湿層の施工が必要です。



10K50mm



16K100mm



床施工が簡単、確実に！ アクリア U ボード

床用

不織布のついた、剛床タイプ。
透湿性を備えた高性能グラスウールです。

Safe & Clean アクリア Aclear Uボードピンレスα アルファ



熱伝導率
0.032
W/(m・K)



アクリア Aclear Uボードピンレス



アクリア Aclear UボードピンレスS



断熱等性能等級4対応仕様例
床(その他の床)【剛床タイプ】

1.2.3地域

アクリアUボードピンレスα 36K105mm

4地域以南

アクリアUボードピンレスS 20K90mm

根太床、外気に接する床には**アクリアUボードNT**をご用意しております。

特長

- 受け金具等は基本的に不要。施工性に優れています。
- 適度な弾力性があり、隙間のない断熱施工ができます。
- 水蒸気を通しやすい素材ですので、床合板の湿気を逃します。**必ず不織布を下に向けて施工してください。**

防湿フィルム無しのアクリア！ アクリアウール

壁・天井・床用

防湿フィルム別張りタイプのアクリアです。

Safe & Clean アクリアウールアルファ Aclear woolα



熱伝導率
20K:0.034
W/(m・K)
36K:0.032
W/(m・K)



熱伝導率
28K:0.033
W/(m・K)
熱抵抗値
89m厚:2.7
㎡・K/W



アクリアウール Aclear wool



特長

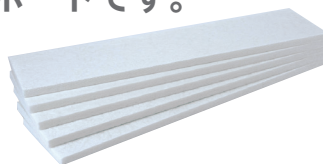
- 高性能グラスウールです。
- 手触りもソフト。従来のグラスウールのチクチク感がほとんどありません。
- 別張り防湿シートの施工が必要です。

外張り断熱用のアクリア！ アクリアジ奥斯

外張り・付加断熱用

高性能・撥水グラスウールボードです。

Safe & Clean アクリア ジオス Aclear gwos



特長

- 不燃材であるグラスウールなので耐熱性に優れます。
- 横棧方式により外壁の保持力が強くなります。

高断熱住宅にお勧め！ アクリア R57

天井用

厚さ200mm、熱抵抗値5.7㎡・K/Wを実現。



Safe & Clean アクリア Aclear R57

熱抵抗値
5.7
㎡・K/W

熱伝導率
0.035
W/(m・K)

特長

- 厚さ200mmの1層で、省エネ基準(仕様基準)1・2地域の天井に要求される熱抵抗値5.7㎡・K/Wを達成します。

ZEHやHEAT20などの高断熱住宅にお勧め

孔あき着色ポリエチレンフィルム

室外側



防湿ポリエチレンフィルム

耳

室内側

新商品のご紹介

誘導基準

断熱等性能等級5

仕様基準に対応する製品を

新たにラインアップ

高断熱住宅の天井用にお勧め！

アクリアα R71

天井用

シリーズ最高の厚さ250mmで
最高性能を更新！



熱抵抗値
7.1
㎡・K/W

熱伝導率
0.035
W/(m・K)



断熱等級5の天井にお勧め！

アクリア R45

天井用

厚さ170mmで3～7地域の天井の
熱抵抗の基準：R4.4に対応



熱抵抗値
4.5
㎡・K/W

熱伝導率
0.038
W/(m・K)



吹き込みタイプのアクリア！ アクリアブロー S

天井・屋根・壁・床用

専門業者による
安心の断熱施工です。



特長

- すき間なく、すみずみまで断熱材が行き渡るので、天井の吊り木や配線まわりも確実に施工できます。
- 断熱リフォームにも最適です。



規格表

R 軸組尺モジュール M 軸組メーターモジュール 2x 枠組尺モジュール

設計価格は税抜価格です。北海道、沖縄および離島は別途の価格設定となります。

● 下表に記載の製品はJIS A 9521:建築用断熱材(F☆☆☆☆)の認証製品です。

アクリアネクストα (高性能防湿フィルム付 50ミクロン厚 JIS A 6930同等品) (壁用)

製品記号	JISによる表記	品番	密度(kg/㎡)	寸法(mm)			入数	施工坪数	工法・使用箇所	熱抵抗値R(㎡・K/W)	熱伝導率λ(W/(m・K))	設計価格(円/坪)	Eマーク
				厚さ	幅	長さ							
ACN アルファ	GWHG 20-34	00113403	高性能 20	105	395	2880[9.5R]	6枚	約2.3坪分	R 柱・間柱 R 間柱・間柱 M 間柱・間柱	3.1	0.034	12,240	E1
		00113404			430		6枚					12,240	
		00113806			470		5枚					12,240	

アクリアマットα (防湿フィルム付 18ミクロン厚) (天井用)

製品記号	JISによる表記	品番	密度(kg/㎡)	寸法(mm)			入数	施工坪数	工法・使用箇所	熱抵抗値R(㎡・K/W)	熱伝導率λ(W/(m・K))	設計価格(円/坪)	Eマーク
				厚さ	幅	長さ							
ACM アルファ	GWHG20-34	00113405	高性能20	155	455	1370[4.5R]	8枚	約1.5坪分	R M 天井	4.6	0.034	16,560	E1

アクリアアウルα (防湿フィルム無) (壁用)

製品記号	JISによる表記	品番	密度 (kg/m ³)	寸法(mm)			入数	施工坪数	工法・使用箇所	熱抵抗値 R(m ² ・K/W)	熱伝導率 λ(W/(m・K))	設計価格 (円/坪)	Eマーク
				厚さ	幅	長さ							
ACW アルファ	GWHG 20-34	00114167	高性能 20	89	425	1370[4.5R]	12 枚	約2.2坪分	2x 壁	2.6	0.034	8,900	
		00113401		105	395		12 枚		R 柱・間柱	3.1		10,500	
		00113402			430	12 枚	R 間柱・間柱		3.1	10,500			
		00114198		140	420	1190[4.0R]	8 枚	約1.3坪分	2x 壁	4.1		14,000	
		00114202			1330[4.4R]	8 枚	約1.4坪分	2x 壁	4.1	14,000			
	GWHG 28-33	00114935	高性能 28	89	380	1330[4.4R]	8 枚	約1.4坪分	2x 壁	2.7	0.033	9,390	
		00114934			420		8 枚	約1.4坪分				9,390	
	GWHG 36-32	00114031	高性能 36	105	390	1370[4.5R]	6 枚	約1.1坪分	R 柱・間柱	3.3	0.032	11,640	
		00114032			425		6 枚		R 間柱・間柱			11,640	

※「アクリアアウルα」には別張り防湿シートの施工が必要です。

アクリアUボードピンレスα (留め付け用不織布付) (剛床用)

製品記号	JISによる表記	品番	密度(kg/㎡)	寸法(mm)			入数	施工坪数	工法・使用箇所	熱抵抗値R(㎡・K/W)	熱伝導率λ(W/(m・K))	設計価格(円/坪)	Eマーク
				厚さ	幅	長さ							
ACUPL アルファ	GWHG36-32	00113379	高性能36	105	805	805	6枚	約1.5坪分	R 床(大引サイズ105)	3.3	0.032	17,520	E1

アクリアUボードNTα (根太床用・外気床用)

製品記号	JISによる表記	品番	密度(kg/㎡)	寸法(mm)			入数	施工坪数	工法・使用箇所	熱抵抗値R(㎡・K/W)	熱伝導率λ(W/(m・K))	設計価格(円/坪)	Eマーク
				厚さ	幅	長さ							
ACUNT アルファ	GWHG 20-35	00114955	高性能 20	120	805	805	6枚	約1.5坪分	R 外気床	3.4	0.035	11,970	E1
		00114956			820	820	6枚	約1.5坪分					



断熱、いちばん、アクリア。

断熱とは

断熱の効果

下表に記載の製品はJIS A 9521:建築用断熱材(F☆☆☆☆)の認証製品です。

アクリアQR71

(天井用)

製品記号	JISによる表記	品番	密度 (kg/m ³)	寸法(mm)			入数	施工坪数	施工部位	熱抵抗値 R(m ² ・K/W)	熱伝導率 λ(W/(m・K))	設計価格 (円/坪)
				厚さ	幅	長さ						
ACM アルファ	GWHG20-35	00610033	高性能 20	250	455	1370[4.5尺]	5枚	約0.9坪分	天井	7.1	0.035	26,700

下表に記載の製品はJIS A 9521:建築用断熱材(F☆☆☆☆)の認証製品です。

アクリアR57

(天井用)

製品記号	JISによる表記	品番	密度 (kg/m ³)	寸法(mm)			入数	施工坪数	施工部位	熱抵抗値 R(m ² ・K/W)	熱伝導率 λ(W/(m・K))	設計価格 (円/坪)
				厚さ	幅	長さ						
ACM	GWHG20-35	00610032	高性能 20	200	455	1370[4.5尺]	6枚	約1.1坪分	天井	5.7	0.035	21,360

下表に記載の製品はJIS A 9521:建築用断熱材(F☆☆☆☆)の認証製品です。

アクリアR45

(天井用)

製品記号	JISによる表記	品番	密度 (kg/m ³)	寸法(mm)			入数	施工坪数	施工部位	熱抵抗値 R(m ² ・K/W)	熱伝導率 λ(W/(m・K))	設計価格 (円/坪)
				厚さ	幅	長さ						
ACM	GWHG14-38	00114937	高性能 14	170	455	1370[4.5尺]	10枚	約1.88坪分	天井	4.5	0.038	12,450

下表に記載の製品はJIS A 9521:建築用断熱材(F☆☆☆☆)の認証製品です。

アクリアネクスト(高性能防湿フィルム付 50ミクロン厚 JIS A 6930同等品)

(壁・屋根用)

製品記号	JISによる表記	品番	密度 (kg/m ³)	寸法(mm)			入数	施工坪数	工法・使用箇所	熱抵抗値 R(m ² ・K/W)	熱伝導率 λ(W/(m・K))	設計価格 (円/坪)	E1マーク
				厚さ	幅	長さ							
ACN	GWHG 14-38	00113675	高性能 14	89	420	2360[8尺]	10枚	約3.2坪分	壁・屋根	2.3	0.038	7,390	
		00113684			395	2880[9.5尺]	10枚	約3.9坪分	柱・間柱	7,550			
		00113685		430	10枚		間柱・間柱	7,550					
		00113686		470	10枚		間柱・間柱・屋根	7,550					
		00109080		395	2880[9.5尺]	9枚	約3.5坪分	柱・間柱	8,180	E1			
		00113269		430		7枚	間柱・間柱・屋根	8,180	E1				
		00114308		470		7枚	間柱・間柱・屋根	8,180	E1				

下表に記載の製品はJIS A 9521:建築用断熱材(F☆☆☆☆)の認証製品です。

アクリアマット(防湿フィルム付 18ミクロン厚)

(壁・天井・屋根用)

製品記号	JISによる表記	品番	密度 (kg/m ³)	寸法(mm)			入数	施工坪数	工法・使用箇所	熱抵抗値 R(m ² ・K/W)	熱伝導率 λ(W/(m・K))	設計価格 (円/坪)	E1マーク	備考
				厚さ	幅	長さ								
ACM	GWHG 10-43	00111143	高性能10	50	430	2880[9.5尺]	24枚	約9.5坪分	壁、天井	1.2	0.043	2,450		室外側フィルム 色: グレー
	GWHG 10-43	00111235	高性能 10	100	395	2880[9.5尺]	12枚	約4.7坪分	壁、天井	2.3	0.043	5,420		室外側フィルム 色: 乳白色
		00111236			430		12枚		壁、天井			5,420		
		00111237			470		11枚		壁、天井			5,420		
	GWHG 14-38	00110572	高性能14	155	455	1370[4.5尺]	11枚	約2.0坪分	天井(等級4向)	4.1	0.038	11,350	E1	室外側フィルム 色: 乳白色
	GWHG 16-37	00114220	高性能16	100	430	2880[9.5尺]	8枚	約3.1坪分	壁、天井	2.7	0.037	7,100	E1	室外側フィルム 色: ピンク

※天井断熱の場合、別張り防湿シートの施工が必要です。

下表に記載の製品はJIS A 9521:建築用断熱材(F☆☆☆☆)、JIS A 6301:吸音材料の認証製品です。

アクリアGPACマット(防湿フィルム付 18ミクロン厚)

(壁・天井用)

製品記号	JISによる表記	品番	密度 (kg/m ³)	寸法(mm)			入数	施工坪数	工法・使用箇所	熱抵抗値 R(m ² ・K/W)	熱伝導率 λ(W/(m・K))	設計価格 (円/坪)	備考
				厚さ	幅	長さ							
AGPM	GWHG 24-34	00111562	高性能 24	50	430	1370	20枚 (12㎡)	約3.7坪分	壁、天井	1.5	0.034	5,350	室外側フィルム 色: ピンク
		00111563		100			10枚 (6㎡)	約1.8坪分		2.9		11,000	

下表に記載の製品はJIS A 9521:建築用断熱材(F☆☆☆☆)の認証製品です。

アクリアウール(防湿フィルム無)

(壁・天井・屋根・床用)

製品記号	JISによる 表記	品番	密度 (kg/m ³)	寸法(mm)			入数	施工坪数	工法・使用箇所	熱抵抗値 R(m ² ・K/W)	熱伝導率 λ(W/(m・K))	設計価格 (円/坪)	E1マーク
				厚さ	幅	長さ							
ACW	GWHG 16-38	00113677	高性能 16	89	375	2350[8尺]	9枚	約2.9坪分	2 壁・屋根・天井	2.3	0.038	7,790	
		00113676			425		9枚					7,790	
		00113682			375	2740[9尺]	8枚	約3.0坪分				7,790	
		00113683			425		8枚					7,790	
		00110020		105	395	2740[9尺]	8枚	約3.0坪分	R 柱・間柱	2.8		9,020	E1
		00110019			430		8枚		R 間柱・間柱			9,020	E1
		00114170		120	380	2880[9.5尺]	6枚	約2.3坪分	R 柱・間柱	3.2		10,300	E1
		00114171			425		6枚		R 間柱・間柱			10,300	E1
	GWHG 16-38	00114765	高性能 16	140	375	2350[8尺]	5枚	約1.5坪分	2 壁・屋根	3.7	0.038	12,010	E1
		00114513			425		5枚					12,010	E1
	GWHG 16-38	00114335	高性能 16	105	810	11000	1ロール	約3.0坪分	R 床(大引間:810幅)	2.8	0.038	9,020	E1
		00114793		50	910	22000	1ロール	約6.0坪分	汎用	1.3		4,300	
		00114794		105		11000	1ロール	約3.0坪分		2.8		9,020	E1
	GWHG 24-36	00114172	高性能 24	105	395	2880[9.5尺]	4枚	約1.5坪分	R 柱・間柱	2.9	0.036	14,390	E1
		00114173			430		4枚		R 間柱・間柱			14,390	E1
		00112013		120	390	2770[9.1尺]	4枚	約1.5坪分	R 柱・間柱	3.3		16,440	E1
		00112014			430		4枚		R 間柱・間柱			16,440	E1

※別張り防湿シートの施工が必要です。

下表に記載の製品はJIS A 9521:建築用断熱材(F☆☆☆☆)の認証製品です。

アクリアジオス(外張用)												
製品記号	JISによる表記	品番	密度 (kg/ m ³)	寸法(mm)			入数	施工坪数	熱抵抗値 R(m ² ・K/W)	熱伝導率 λ(W/(m・K))	設計価格 (円 / 坪)	備考
				厚さ	幅	長さ						
ACHW	GWHG32-35	00114025	高性能 32	45	410	1820 6R	10 枚	約 2.5 坪分	1.3	0.035	8,690	受注生産品

下表に記載の製品はJIS A 9521:建築用断熱材(F☆☆☆☆)の認証製品です。

アクリアUボードピンレス／アクリアUボードピンレスS (留め付け用不織布付)

(剛床用)

製品記号	JISによる表記	品番	密度 (kg/m ³)	寸法(mm)			入数	施工坪数	工法・使用箇所		熱抵抗値 R(m ² ・K/W)	熱伝導率 λ(W/(m・K))	設計価格 (円/坪)	Eマーク			
				厚さ	幅	長さ			工法	大引サイズ							
ACUPL	GWHG 24-36	00113701	高性能 24	105	805	805	6 枚	約 1.5 坪分	R	105	2.9	0.036	12,140				
		00112651				1820	4 枚	約 2.0 坪分		105			12,140				
		00110310		120◎	790	1820	3 枚	約 1.5 坪分	R	120	3.3		13,860				
ACUPLS	GWHG 20-36	00115046	高性能 20	90	820	805	8 枚	約 2.0 坪分	R	105	2.5	0.036	10,320				
		00115062				820	8 枚	約 2.0 坪分		90			10,320				
		00115145				888	8 枚	約 2.0 坪分		90			10,320				
		00115142				1820	4 枚	約 2.0 坪分		90			10,320				
		00115045			910	2000	4 枚	約 2.4 坪分	M	90			10,320				

◎120mm品を一般床(その他の床)に使用する場合、基礎パッキンからの通路経路をふさがないようにご注意ください。

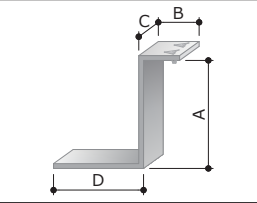
下表に記載の製品はJIS A 9521:建築用断熱材(F☆☆☆☆)の認証製品です。

アクリアUボードNT

(根太床用)

製品記号	JISによる表記	品番	密度(kg/m ³)	寸法(mm)			入数	施工坪数	工法・使用箇所	熱抵抗値R(m ² ・K/W)	熱伝導率λ(W/(m・K))	設計価格(円/坪)	Eマーク
				厚さ	幅	長さ							
ACUNT	GWHG 24-36	00111762	高性能 24	42	263	1820	18 枚	約 3.0 坪分	洋室：根太間	1.2	0.036	4,010	
		00111763			415		12 枚					和室：根太間	
		00111764		80	263	910	18 枚	約 1.5 坪分	洋室：根太間	2.2		7,580	
		00111766			415		14 枚	約 1.75 坪分	和室：根太間			7,580	

◎120mm品を一般床(その他の床)に使用する場合、基礎パッキンからの通路経路をふさがないようにご注意ください。

エースピン(床専用受けピン)												
	品番	製品名		寸法(mm)					入数	設計価格 (円/本)	剛床の場合のピンの使用本数 (長さ1820～2000 1枚につき)	
				A	B	C	D	厚				
	00103475	AP-42Z	42mm用	42	30	23	75	0.4	200本	60	片側4本、両側で 8 本	
	00110222	AP-80Z	80mm用	80	30	20	75	0.5	40本	77	片側4本、両側で 8 本	
	00800957	AP-90Z	90mm用	90	30	25	75	0.5	20本	110	片側4本、両側で 8 本	
	00110916	AP-107ZA	105mm用	107	30	23	77	0.5	20本	200	片側6本、両側で12本	
	00110641	AP-120Z	120mm用	120	30	20	75	0.5	48本	120	片側6本、両側で12本	

※2×4、高根太、間くずれした部分には、受けピンをご使用ください。

下表中に記載の製品はJIS A 9523:吹込み用繊維質断熱材(F☆☆☆☆)の認証製品です。

アクリアブローS

(壁・天井・屋根・床用)

製品記号	JISによる表記	品番	用途	施工密度 (kg/m ³)	熱伝導率◎ λ(W/(m・K))	入数 (kg/ケース)
ABS	LFGW1352	00114976	天井	13以上	0.052	14
	LFGW3238		屋根・壁・床	32以上	0.038	

◎密度の下限値における熱伝導率

吹込み用グラスウールの設計・施工上のご注意

●当社指定業者による責任施工を実施しています。

●別途、防湿層の施工が必要です。

●ダウンライトはSB形をご使用ください。

(なお、SB形でも吹込み断熱厚に制限が設けられている場合があります。詳細については、機器の説明書をご参照ください)

●天井断熱時は住宅金融支援機構の仕様書に準じた小屋裏換気口を設置してください。

◎密度の下限値における熱伝導率

R 軸組尺モジュール M 軸組メーターモジュール 2x 枠組尺モジュール

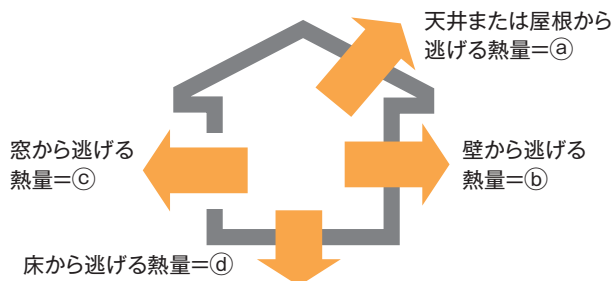
設計価格は税抜価格です。北海道、沖縄および離島は別途の価格設定となります。



平成28年省エネルギー基準について

外皮が満たすべき性能基準

1 外皮平均熱貫流率 (U_A値)



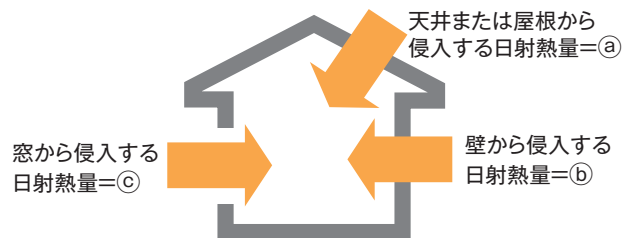
$$\frac{\text{熱損失量の合計 (a)+(b)+(c)+(d)}}{\text{外皮面積の合計}} = \text{外皮平均熱貫流率 (U}_A\text{)}$$

■地域区分ごとの基準値

地域区分	1	2	3	4	5	6	7	8
U _A 値	0.46	0.56	0.75	0.87	—	—	—	—

※U_A値並びにη_{AC}値の算出方法は、「旭ファイバーグラス」お役立ち情報>建築物省エネ法住宅_H28年基準省エネ計算(U_A・一次エネ)」<https://www.afgc.co.jp/knowledge/2017/05/17/50>を参照ください。

2 冷房期の平均日射熱取得率 (η_{AC}値)



$$\frac{\text{日射熱取得量の合計 (a)+(b)+(c)}}{\text{外皮面積の合計}} \times 100 = \text{冷房期の平均日射熱取得率 (}\eta_{AC}\text{)}$$

■地域区分ごとの基準値

地域区分	1	2	3	4	5	6	7	8
η _{AC} 値	—	—	—	—	3.0	2.8	2.7	6.7

平成28年省エネ基準の評価基準

1 エネルギー消費性能基準



省エネ基準適合義務・適合性判定義務

届 出

基準適合認定表示

$$\text{一次エネルギー消費量} \frac{\text{設計値 (家電等除く)}}{\text{基準値 (家電等除く)}} \leq 1.0$$

◎外皮 U_A値:設計値≤省エネ基準、η_{AC}値:設計値≤省エネ基準

2 誘導基準



性能向上計画認定・容積率特例

$$\text{一次エネルギー消費量} \frac{\text{設計値 (家電等除く)}}{\text{基準値 (家電等除く)}} \leq 0.80$$

◎外皮 U_A値:設計値≤誘導基準、η_{AC}値:設計値≤誘導基準

3 住宅事業建築主基準案

住宅トップランナー制度

	注文戸建住宅	建売戸建住宅	賃貸アパート	分譲マンション
目標年度	2024年度	2020年度	2024年度	2026年度
外皮基準	各年度に供給する全ての住宅が省エネ基準に適合			各年度に供給する全ての住宅が強化外皮基準に適合
一次エネルギー消費量基準	$\frac{\text{設計値}}{\text{基準値}} \leq 0.7$	$\frac{\text{設計値}}{\text{基準値}} \leq 0.8$	$\frac{\text{設計値}}{\text{基準値}} \leq 0.9$	$\frac{\text{設計値}}{\text{基準値}} \leq 0.8$
対象となる事業者	年間300戸以上供給する事業者	年間150戸以上供給する事業者	年間1000戸以上供給する事業者	

仕様基準による断熱材の熱抵抗値基準

断熱材の施工方法	部位		地域区分ごとの断熱材の熱抵抗基準値 (m ² ・K/W)							
			省エネ仕様基準				誘導仕様基準			
			1・2	3	4～7	8	1・2	3	4～7	8
木造戸建 充填断熱工法	屋根又は天井	屋根	6.6	4.6	4.6	0.96	6.9	5.7	5.7	1.0
		天井	5.7	4.0	4.0	0.78 (0.89)	5.7	4.4	4.4	0.8
	壁		3.3 (3.6)	2.2 (2.3)	2.2 (2.3)		4.0	2.7	2.7	
	床	外気に接する部分	5.2 (4.2)	5.2 (4.2)	3.3 (3.1)		5.0	5.0	3.4	
		その他の部分	3.3 (3.1)	3.3 (3.1)	2.2 (2.0)		3.3	3.3	2.2	
	土間床等の外周部分の基礎壁	外気に接する部分	3.5	3.5	1.7		3.5	3.5	1.7	
		その他の部分	1.2	1.2	0.5		1.2	1.2	0.7	

※1 床の外気に接する部分が床合計面積の5%以下の部分はその他の部分とみなせる。※2 浴室などの土間床等の外周部の基礎には、省略せず断熱材を施工すること。

※3 上記以外にも異なる施工方法の熱抵抗値基準や開口部の基準、設備の基準あり。

()内は枠組壁工法の熱抵抗基準値

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス (ZEH)

ZEHロードマップ検討委員会とりまとめより

ZEHとは、

「外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロとすることを目指した住宅」とする。

ZEHの定性的定義

ZEH

(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)

外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備え、再生可能エネルギーにより年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの住宅。

Nearly ZEH

(ニアリー・ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)

ZEHを見据えた先進住宅として、外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備え、再生可能エネルギーにより年間の一次エネルギー消費量をゼロに近づけた住宅。

ZEHの定量的定義

	ZEH	Nearly ZEH
外皮性能	下表による	下表による
再生可能エネルギーを除く一次エネルギー消費量削減率※1	基準一次エネルギーから 20%以上	基準一次エネルギーから 20%以上
再生可能エネルギー	導入すること	導入すること
再生可能エネルギーを含む一次エネルギー消費量削減率※2	基準一次エネルギーから 100%以上	基準一次エネルギーから 75%以上100%未満

外皮性能基準	1地域	2地域	3地域	4地域	5地域	6地域	7地域	8地域
UA値(W/m ² ・K)	0.4以下		0.5以下	0.6以下			—	
η _{AC} 値(—)	—	—	—	—	3.0以下	2.8以下	2.7以下	6.7以下

※1 再生可能エネルギーを除く一次エネルギー消費量削減率 = $\frac{(\text{基準一次エネルギー消費量}) - (\text{設計一次エネルギー消費量})}{(\text{基準一次エネルギー消費量})}$

※2 再生可能エネルギーを含む一次エネルギー消費量削減率 = $\frac{(\text{基準一次エネルギー消費量}) - (\text{設計一次エネルギー消費量}) + (\text{太陽光発電等による発電量})}{(\text{基準一次エネルギー消費量})}$

上記の計算でいう一次エネルギー消費量は、暖房・冷房、換気、給湯、照明の一次エネルギー消費量の合計

ZEHの目標

- ◎エネルギー基本計画では、「住宅については、2020年までに標準的な新築住宅で、2030年までに新築住宅の平均でZEHを実現することを目指す」とされている。
- ◎ここでの「標準的な新築住宅でZEHを実現」を達成するための判断として、「ハウスメーカー等が新築する注文戸建住宅の過半数をZEHにすることを目指す」ことが重要である。



省エネルギー基準 ＜断熱等級4相当＞ 仕様基準対応仕様例

注目トピックス

これからは「ZEH水準の省エネ住宅」が新たに家を選ぶ基準になります。

2025年に全ての新築住宅等への省エネ基準の適合義務化等が行われます。さらに、2030年までに適合義務基準が「ZEH水準レベル」まで上げられます。

※「ZEH」の説明につきましてはP.17をご参照ください。

1 軸組構法

熱抵抗値 (R値) の単位: $\text{m}^2 \cdot \text{K} / \text{W}$

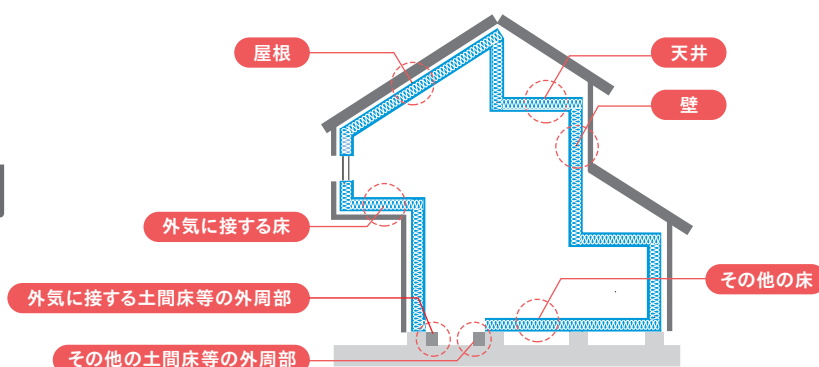
省エネ地域区分			1地域	2地域	3地域	4地域	5地域	6地域	7地域
屋根・天井	屋根	必要熱抵抗値	6.6		4.6				
		対応製品	アクリアウール 24K-120mm×2層		アクリアウール 16K-105mm×2層				
	天井	必要熱抵抗値	5.7		4.0				
		対応製品	アクリアブローS 13K-300mm		アクリアマット 14K-155mm				
壁	壁	必要熱抵抗値	3.3		2.2				
		対応製品	アクリアウール α 36K-105mm		アクリアネクスト 14K-90mm				
床	外気に接する部分	必要熱抵抗値	5.2			3.3			
		対応製品	アクリアUボードNT α 20K-120mm + アクリアUボードNT 24K-80mm			アクリアUボードNT α 20K-120mm			
	その他の部分	必要熱抵抗値	3.3			2.2			
		対応製品	アクリアUボードピンレス α 36K-105mm			アクリアUボードピンレスS 20K-90mm			
外周部分等の基礎壁	外気に接する部分	必要熱抵抗値	3.5			1.7			
	その他の部分	必要熱抵抗値	1.2			0.5			

2 枠組壁工法

熱抵抗値 (R値) の単位: $\text{m}^2 \cdot \text{K} / \text{W}$

省エネ地域区分			1地域	2地域	3地域	4地域	5地域	6地域	7地域
屋根・天井	屋根	必要熱抵抗値	6.6		4.6				
		対応製品	アクリアウール 24K-120mm×2層		アクリアウール 16K-89mm×2層				
	天井	必要熱抵抗値	5.7		4.0				
		対応製品	アクリアブローS 13K-300mm		アクリアマット 14K-155mm				
壁	壁	必要熱抵抗値	3.6		2.3				
		対応製品	アクリアウール 16K-140mm		アクリアネクスト 14K-89mm				
床	外気に接する部分	必要熱抵抗値	4.2			3.1			
		対応製品	アクリアウール 16K-89mm×2層			アクリアUボードNT α 20K-120mm			
	その他の部分	必要熱抵抗値	3.1			2.0			
		対応製品	アクリアウール 16K-140mm 又は アクリアUボード 24K-120mm			アクリアUボードピンレスS 20K-90mm			
外周部分等の基礎壁	外気に接する部分	必要熱抵抗値	3.5			1.7			
	その他の部分	必要熱抵抗値	1.2			0.5			

誘導基準・ZEH水準 ＜断熱等級5相当＞ 仕様基準対応仕様例



1 軸組構法

熱抵抗値 (R値) の単位: m²・K/W

省エネ地域区分			1地域	2地域	3地域	4地域	5地域	6地域	7地域
屋根・天井	屋根	必要熱抵抗値	6.9		5.7				
		対応製品	アクリアフローS 32K-270mm		アクリアウール 24K-105mm×2層				
	天井	必要熱抵抗値	5.7		4.4				
		対応製品	アクリアフローS 13K-300mm		アクリアR45 14K-170mm				
壁	壁	必要熱抵抗値	4.0		2.7				
		対応製品	アクリアウール16K-105mm + アクリアジ奥斯32K-45mm		アクリアネクスト 14K-105mm				
床	外気に接する部分	必要熱抵抗値	5.0			3.4			
		対応製品	アクリアUボードNT α 20K-120mm + アクリアUボードNT 24K-80mm			アクリアUボードNT α 20K-120mm			
	その他の部分	必要熱抵抗値	3.3			2.2			
		対応製品	アクリアUボードピンレス α 36K-105mm			アクリアUボードピンレスS 20K-90mm			
外周部分等の基礎壁	外気に接する部分	必要熱抵抗値	3.5			1.7			
	その他の部分	必要熱抵抗値	1.2			0.7			

2 枠組壁工法

熱抵抗値 (R値) の単位: m²・K/W

省エネ地域区分			1地域	2地域	3地域	4地域	5地域	6地域	7地域
屋根・天井	屋根	必要熱抵抗値	6.9		5.7				
		対応製品	アクリアフローS 32K-270mm		アクリアウール 16K-89mm + アクリアウール 16K-140mm				
	天井	必要熱抵抗値	5.7		4.4				
		対応製品	アクリアフローS 13K-300mm		アクリアR45 14K-170mm				
壁	壁	必要熱抵抗値	4.0		2.7				
		対応製品	アクリアウール α 20K-140mm		アクリアウール α 28K-89mm				
床	外気に接する部分	必要熱抵抗値	5.0			3.4			
		対応製品	アクリアUボードNT α 20K-120mm + アクリアUボードNT 24K-80mm			アクリアUボードNT α 20K-120mm			
	その他の部分	必要熱抵抗値	3.3			2.2			
		対応製品	アクリアUボードピンレス α 36K-105mm			アクリアUボードピンレスS 20K-90mm			
外周部分等の基礎壁	外気に接する部分	必要熱抵抗値	3.5			1.7			
	その他の部分	必要熱抵抗値	1.2			0.7			

カスタマーセンター ご注文に関してはこちらへ

営業時間 9:00～12:00/13:00～17:30（平日のみ） ※個人のお客様はお近くの工務店、ハウスメーカー様にご相談ください。

ご注文専用 FAX		納期確認・在庫照会 TEL	
北海道	0120 (726) 371	北海道	0120 (778) 354
東北	0120 (726) 372	東北	0120 (778) 362
東京、神奈川、千葉、山梨、静岡（東部）	0120 (726) 370	東京、神奈川、千葉、山梨、静岡（東部）	0120 (778) 311
埼玉、群馬、栃木、茨城、新潟、長野	0120 (726) 390	埼玉、群馬、栃木、茨城、新潟、長野	0120 (778) 324
建築・設備（関東）、産業（GW）	0120 (726) 384	建築・設備（関東）、産業（GW）	0120 (778) 370
中部・東海・北陸	0800(222)3692	中部・東海・北陸	0800(222)3689
近畿	0800(222)3691	近畿	0800(222)3596
中国・四国	0120 (726) 373	中国・四国	0120 (778) 359
九州	0120 (726) 380	九州	0120 (778) 364

製品に関するお問合せはこちらへ

TEL. 0120(99)6388 FAX. 0467(74)1761

なんでも
E-mail : nandemo@afgc.co.jp

営業時間 9:00～12:00/13:00～17:30（平日のみ）

▶ インターネットでグラスウールの役立つ情報をご覧になれます。

旭ファイバーグラス（株）ホームページ
<https://www.afgc.co.jp>



硝子繊維協会ホームページ
<https://www.glass-fiber.net>

● アクリアご使用の際のお願いとご注意

- 火災防止上、アクリアの表皮材（ポリエチレンフィルム）に裸火、溶接・溶断の火花、その他の火源を近づけないでください。
- 天井に使用する場合、ダウンライトはSB形あるいはSG形をご使用ください。M形は使用しないでください（なお、SB形、SG形でも断熱厚に制限が設けられている場合があります。詳細については機器の説明書をご参照ください）。
- 天井に使用する場合、小屋裏換気口を設置してください。
- 防湿層は室内側にし、内装仕上材との隙間が生じないように施工してください。
- 施工の際には、適切な通気措置を施してください。
- 保管時および施工後は雨にぬらさないようご注意ください。
- 掲載の製品仕様およびデザインは改良のため、予告なく変更することがあります。
- 製品等の色は印刷により実際の物と若干異なる場合があります。
- まれに製造工程で汚れが混入することがありますが、性能上問題はございません。

最新の情報については、当社webカタログをご参照ください。

快適の未来へ <https://www.afgc.co.jp>

ISO 9001・14001 認証取得



旭ファイバーグラス株式会社

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-6-3 神田三菱ビル



Instagram はじめました



@ASAHI.FG

＜関連会社情報＞

■ 旭ビルウォール株式会社

繊維補強建材の設計施工コンサルティング
耐アルカリ硝子繊維の販売など

詳細は旭ファイバーグラスのホームページからご覧いただけます。